

阪神電車防災通信 No.5

～自然災害に強い沿線づくりを目指して～



三宮駅周辺地域帰宅困難者対策
「実働訓練」に
参加しました。



1月16日（金）阪神電気鉄道株式会社が、三宮駅周辺地域帰宅困難者対策実動訓練に参加しました。

“大阪府北部を震源とする震度6弱の地震が発生、神戸市は震度4を観測し、津波の影響はなし、また、鉄道をはじめとする交通機関は全て運転見合わせ中であり、運転再開の見込みは立っていない”との想定の下、神戸三宮駅をご利用するお客さまや来街者を一時滞在施設へ避難誘導しました。指定地方公共機関である鉄道会社として「自助」「共助」の観点より、「お客さま・社員を守るとともに、帰宅困難者を解消できるよう早期の運転再開に尽力する」を訓練を通じて学びました。

阪神電気鉄道は、1995年の阪神・淡路大震災で被災した企業として、「自然災害に強い沿線づくり」を目指し、これからも沿線の皆様とともに取り組みを推進してまいります。

阪神電車 安全報告書



こちらからご覧ください。 ↗

